

共同助成(宮城県遊技業協同組合)

「交流人口を活かした六次産業化による コミュニティの復興・再生・活性化」事業

障がい者とともに復興する街づくりに 障がい者自らが当事者として取り組む

「障がい町おこし」を旗印に、障がいを抱える当事者やその支援者が宮城県石巻地域で震災復興に取り組んでいる。これまでの交流で培ったつながりを生かし、全国の支援者に石巻地域の水産加工品をカタログ販売しようとする試みは、上々の滑り出しを見せている。六次産業化の推進で、新たな石巻の姿が見られる日が待ち遠しい。



石巻市の障がい者、水産加工企業などが一体となり制作した水産加工品商品カタログ

障がい者、水産加工企業、新規事業者が 一体となって六次産業化を目指す

一般社団法人「シャロームいしのまき」は、北海道・浦河町で約150名の精神障がい当事者やスタッフによって町おこし事業に取り組んでいる「べてるの家」の理念に学びつつ、精神障がい当事者と家族、支援者を中心に宮城県石巻地域に根ざした精神保健活動を行っている団体である。精神障がい当事者とその家族によるオープンダイアログ形式のミーティングやソーシャルスキルトレーニングを実施したり、一般向けにシンポジウムなどを開催して障がい者への理解促進を目的とした啓蒙活動に取り組むとともに、「就労継続支援B型事業所・べてるの風」を運営している。

石巻地域では東日本大震災後に他県から移住した若い世代が新しい事業を展開し始めているが、まだまだ認

知度も低く、孤立化するおそれがある。一方、震災以前から主要産業として地域を支えてきた水産加工業者は、震災後に取引先を失い、新社屋ができて売り上げが回復する兆しがなかなか見えない中であえいでいる。同法人では、この両者の連携の強化、深化を図るとともに、復興に期待を寄せる多くの支援者との交流を通じて六次産業化を推進する事業に乗り出した。

その中核として販売を担うのが、石巻地域の障がい当事者である。障がい者は地域社会に参画することで「障がい者とともに復興する街づくり」を支援者にアピールでき、それによって交流人口が増えれば、六次産業化につなげていくことができる。いわば、石巻地域の障がい者、水産加工業者、新規事業者が一体となって新たな石巻ブランドを確立することで、地域の復興・再生・活性化を実現しようというのが事業の目的である。

全国にいる約9,000カ所の支援者に向け 石巻の水産加工品商品カタログを発送

その事業の基盤となる資産が、震災後に全国から駆けつけたボランティアや支援を寄せてくれた方々との間で大切に保ってきたつながりである。そのつながりは、約9,000件の郵送通信物によって今も保たれている。同法人では被災した水産加工企業の商品カタログを作製し、現在もつながりを保っている全国の支援者に送付して商品を購入してもらおうとともに、再び石巻を訪れるきっかけにしておうと事業化に踏み切った。その活動資金として、AJOSCの助成が活用された。

2018年6月28日に被災水産加工企業4社の商品が掲載されたカタログを8,351カ所にダイレクトメールで発送した。スタッフ4名、障がい当事者7名、ボランティア5名が商品の受注の発信作業、注文に基づく商品の包装作業、商品の発送作業に参加し、7~8月の売り上げが160万円を超えた。10月4日には玉手箱便「超新鮮秋刀魚」のチラシを発送、55件の申し込みがあった。また、11月28日には9

社の商品カタログ(玉手箱便「牡蠣」のチラシ含む)を9,215カ所にダイレクトメールで発送した。スタッフ3名、障がい当事者8名、ボランティア4名が6月同様に参加し、12~1月の売り上げが167万円を超えた。

売り上げを上げるには良質の商品カタログが不可欠であり、それを障がい当事者と一緒に製作できたことが、同法人にとっては大きな喜びになった。また、障がい者が独自の販売ルートを持し、販売能力があることを地元の水産加工企業が認識したことに加え、障がい当事者も誇りを持って地域のために働きたいという思いが高まったという。また、今回の活動を紹介するシンポジウムやセミナーも開催した。

宮城県遊技業協同組合より

障がい福祉事業で町おこしを行う、珍しい取り組みに賛同させていただきました。今後も水産加工品の販売を通して復興、障がい者支援を継続してもらいたいと思います。



2日間にわたり開催した「障がい町おこしシンポジウム」のチラシ



障がい者や支援者、大学教授、水産関係者などを招き開催

助成団体:一般社団法人 シャロームいしのまき

<http://shalomishinomaki.bitter.jp/>



良質の商品カタログが全国の支援者に好評で、売り上げに貢献

AJOSCの助成は私たちにとって大きな励みとなりました。全国約9,000カ所に石巻地域の水産食品の商品カタログをお中元・お歳暮の時期に合わせ、作製・送付することができました。今までにもまして豊富な商品カタログが出来上がり、好評でした。AJOSCの震災復興に寄せる思いを深く感じるとともに、今後とも東北の震災復興に助成いただければ幸いです。

一般社団法人 シャロームいしのまき
理事長 大林 健太郎さん